

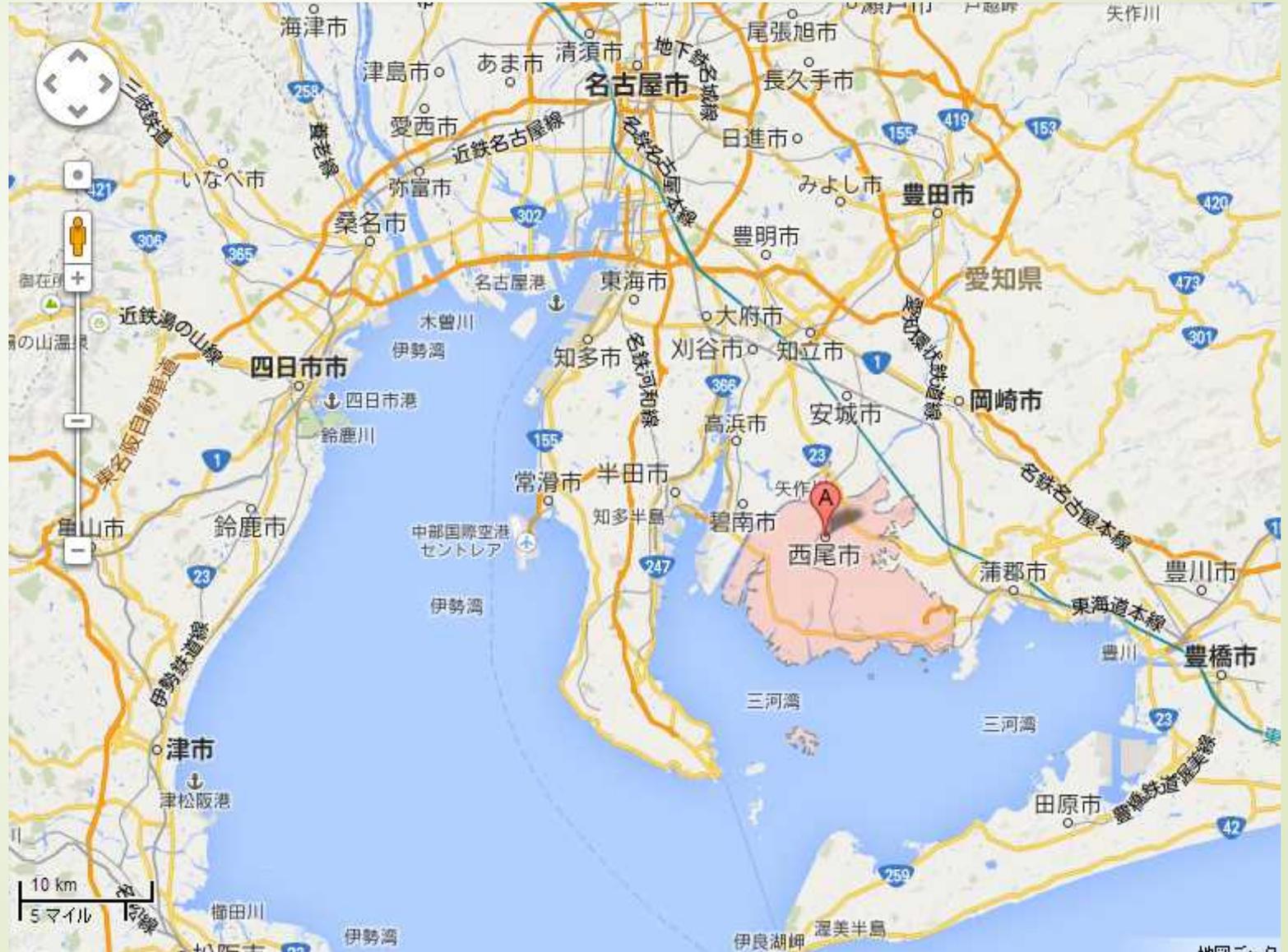
平成28年度日本語教育研究協議大会

若者に対する日本語 学習支援の現状と課題

西尾市早期適応教室指導員 H A H A H A代表 菊池 寛子

E-mail: kikuchi-hiroko@nishio.ed.jp

西尾市の現状について

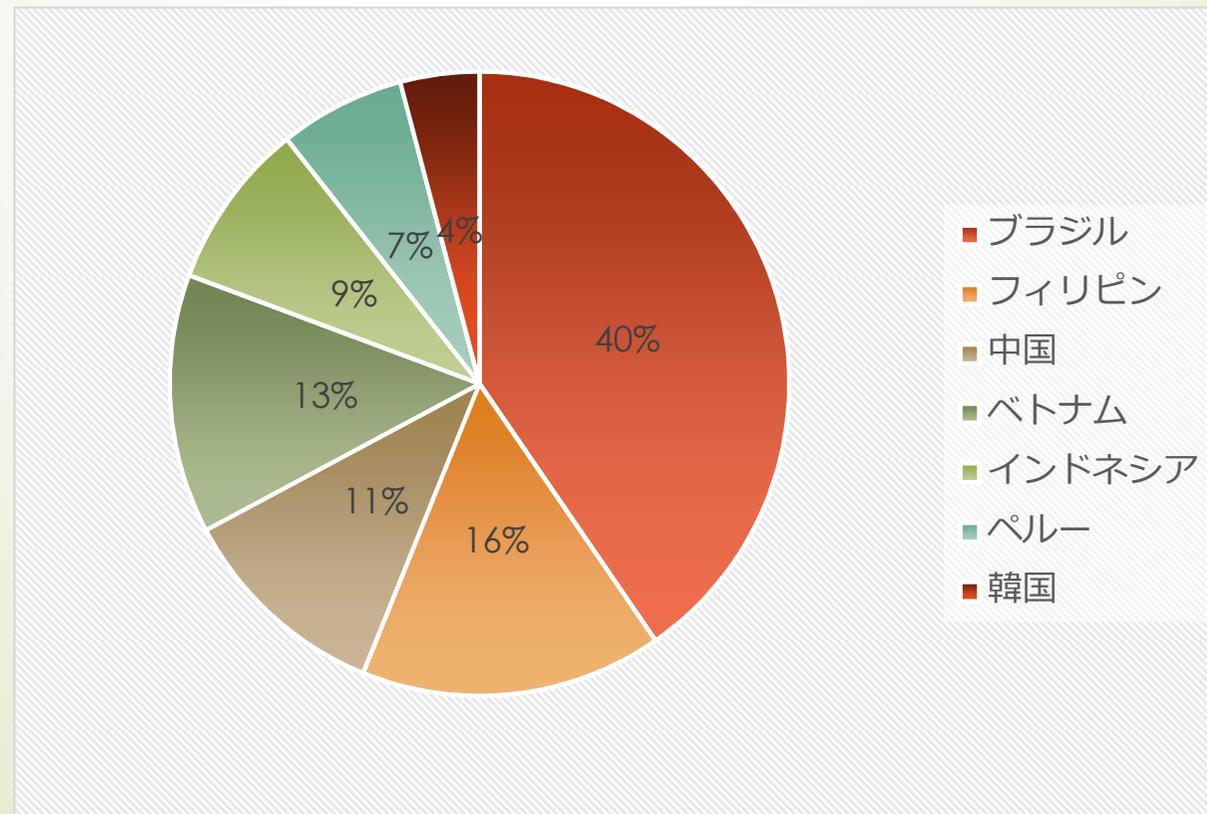


西尾市の現状について

人口(2016.6.1現在)

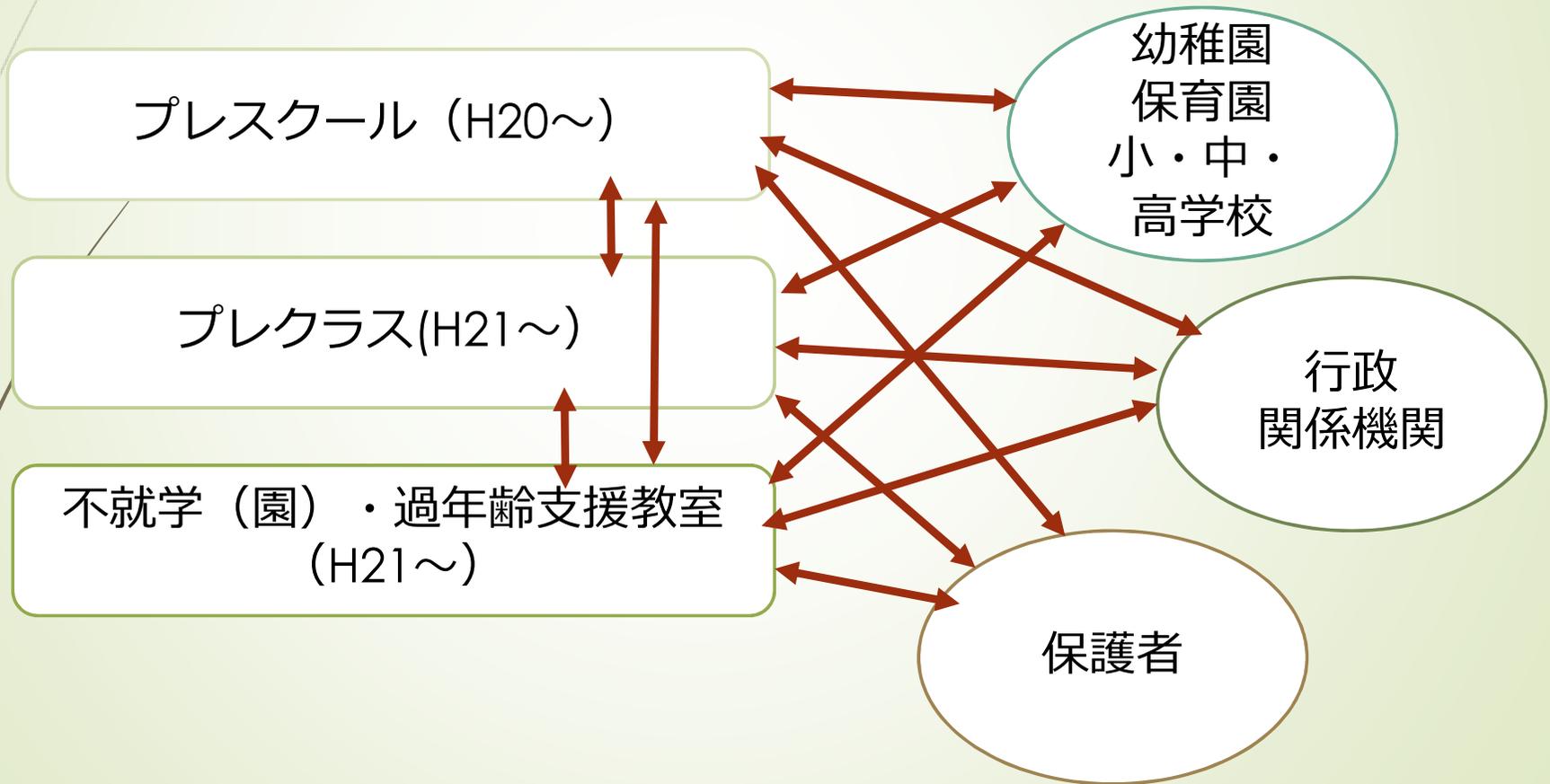
➡ 171,051人、そのうち約4.1%(6,966人)が外国人

➡ 内訳【国籍別】



西尾市の子どものための 日本語教育の場

子どものための日本語教育の取組





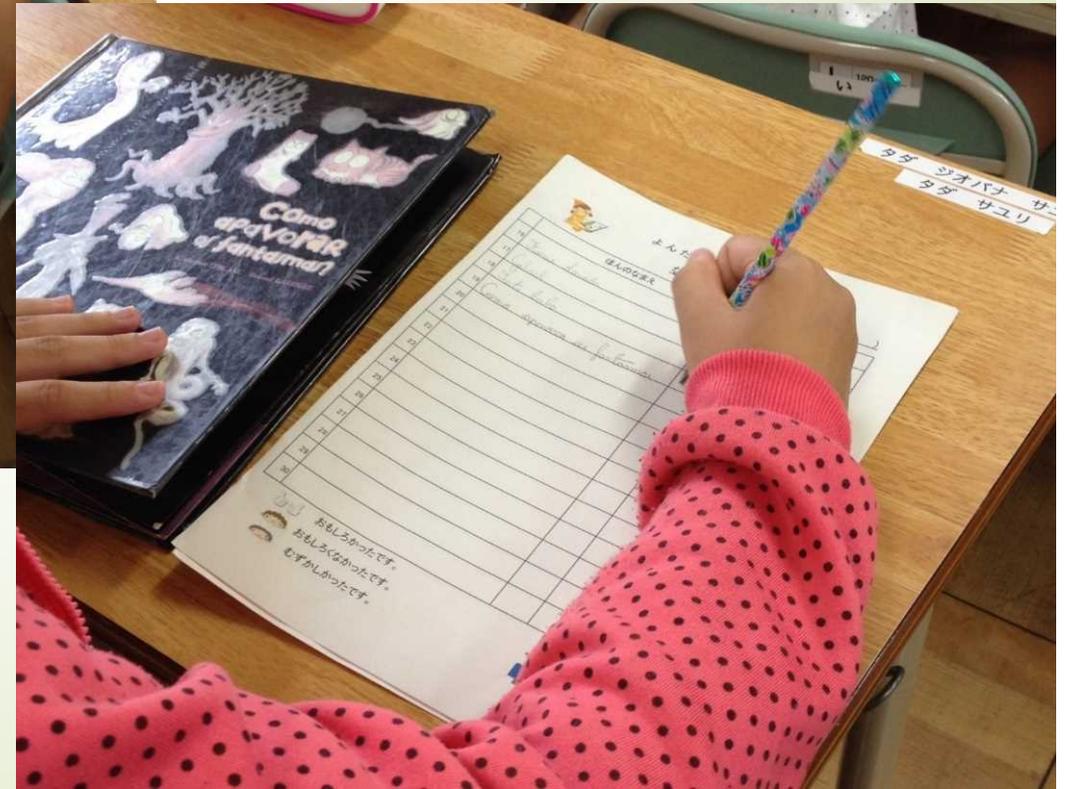
西尾市早期適応教室

- 西尾市内公立小中学校へ編入
- 初日は在籍校へ
- 二日目より早期適応教室で8時から15時まで学ぶ
- 朝の会～帰りの会（5時間授業、給食、掃除）
- 週1回は在籍校へ登校

平常授業



読書



小学1年生～中学3年生



市内循環バスの利用



先輩の話を聞く会



DLA

～大学生による寄り添い読書



HAHAHA

日曜日「にしおっこカラフル」



フェスタで 多言語絵本読み聞かせ



西尾市をアピール



西尾市内散策（バス、徒歩）



いちご狩り (地元農園とコラボ)



高齢者施設慰問



イベント通訳



若者に対する日本語学習支援の場

- H21 Green station 厚生労働省雇用促進事業、子ども課
→市民団体へ委託
(不就学調査、就学支援、放課後学習支援
対象：5歳～15歳)
- H23 Bateria serie 文化庁事業日本語教室設置、HAHAHA
(対象：13歳～20歳)
- H23 Bateria serie 厚生労働省雇用促進事業、市民協働課
→企業へ委託
- H24 きぼう 西尾市就学支援事業、学校教育課→市民団体委託
(対象：5歳～18歳)
- H26 KIBOU 西尾市就学支援事業、学校教育課
→プレクラス運営先へ委託

Bateria Serie



➤ 目標

子どもたち： -“学ぶ楽しさを知り、興味関心を広げる”
-人間関係がうまくつくれる
-地域に愛着をもてる

スタッフ： -“子どもたちの気持ちに寄り添い、見守る”

教室： -“地域の教室”

➤ 時間 9時～12時（30分×5教科）

➤ 学習者数： のべ70人（うち、高校進学3名）



立ち上げの過程での課題

- 教室の目的（進学か居場所か）
 - スタッフ育成（資格）
- 

きぼう (KIBOU)

▶ 火曜日～金曜日

1時～3時 義務教育年齢を超えた子どもたち



高等学校授業サポート



保育園での夏祭り ボーリングお手伝い



定時制高校 night festa出展



熊本地震

(震度、避難の仕方、非常食)



中学生 職場体験



フィリピンのお菓子 “トロン”作り





KIBOU

▶ 学習者数

H26 9人

(進学希望1人、高校生2名、就職6人⇒進学0)

H27 15人

(進学希望5人⇒進学5人、高校生5人、就職3人)

H28 23人

(進学希望9人...中卒認定試験1人、高校生10人、
就職4人)

“居場所”、“高出席率”



KIBOU教室の課題

- 就職希望者は日本語を学習しているが、自力で就職を見つけるのは難しい。16歳という年齢
- 高校生は入学できても日本語や教科のサポートが必要であるため、ユニバーサルデザインを取り入れて教材作成をして、先行学習をしている。そのため高校とうまく連携をしていきたいが、難しい。

定時制高等学校 学習支援員として





めざすところ

- 各学校が子どもを現状をきちんと把握し、育てていく。



- 早期適応教室、HAHAHA、KIBOUで各学校の教諭がしっかり子どもたちの現状を把握し、育てていくためのサポートをする。



高等学校でのユニバーサルデザイン

- 過年齢サポートスタッフの努力が実り、定時制高等学校教頭の信頼を得ることができた。
- 定時制高等学校教頭→全日制高等学校教頭へ転任
- H28年3月半日ユニバーサルデザイン研修
- 全日制高等学校外国人特別選抜で入学者へユニバーサルデザイン授業実施
- 全日制高等学校教頭⇒定時制高等学校 連携



定時制高等学校の新たな試み

- フィリピン、ブラジル生徒のための語学支援員
「日本語支援」
- 試験週間のみの支援
- 平常授業見学
- 教諭の10年研修に早期適応教室とKIBOUへボランティア
- ユニバーサルデザイン披露
- 日本語能力検定教材購入
- 大学の日本語教育専攻の学生ボランティア協力検討



課題

- ▶ 定時制高等学校での現状
 - 母国で中学を卒業、中学3年で来日⇒定時制高等学校へ
 - 小学生のときに来日⇒定時制高等学校へ
 - 授業の理解度
- ▶ 全日制高等学校への進学率
- ▶ 一人一人の現状把握、指導計画、目標のコンセンサスとその方法